



JAびえい

No.1128

1月号

2018

January

丘の大地

JAびえい・広報誌

新
年
特
集
号

'18 元気・すこやか・たくましく
あけましておめでとう!



夢と希望の未来を創る

美瑛町立ルベシベヘキ地保育所のみなさん

謹

賀

新

年

年頭の ごあいさつ

星霜70年を糧に逞しい協同運動 所得確保の要、穀類施設は当年完全復旧



代表理事専務

浦島 規生

町総体の農業総生産高見込みでは、昨年、一昨年を上回る122億円、交付金加算ベース

米は平年作を確保し、畑作、蔬菜も収量・品質とも総じて平年作、酪農・畜産は安定基調と、組合員皆様の努力の成果が報われた1年となりました。



代表理事組合長

熊谷 留夫

組合員の皆様方には、ご健勝にて2018年の輝かしい新年を迎えられましたものと心よりお慶び申し上げます。

また、日々の営農と併せ地域の振興にご尽力されていることに對し、改めて敬意と感謝を申し上げます。

昨年の美瑛町農業は、春作業が比較的順調に推移し、一時的な日照不足による生育の遅れや、収穫期に不順な天候に悩まされた時期もありましたが、作柄としては良好な年となりました。

では155億円にのぼり、3年連続での高い生産水準となったところであります。

平成28年の台風による被害の傷も完全に癒えない中で、このような実績を残せましたことは、組合員皆様のご努力はもちろん、本町の強靱な農業生産基盤の底力であると確信しております。

本年度の大きな目標であります台風被災施設の復旧工事は、現在順調に進んでおり、本年3月の完全復旧に向けて取り進めているところです。

このような状況の中で、国際貿易交渉の状況は、TPP11、日EU・EPA、米国との貿易交渉など、その進展と合意内容、農業経営への影響などが生産現場に十分伝わっていないこともあり、将来への不安を抱え、担い手の生産意欲の減退が懸念さ

れるところです。

また、農協改革、規制改革では、生産資材価格の引き下げと見える化、牛乳・乳製品の生産・流通においては、新たな加工原料乳生産者補給金制度を盛り込んだ改正畜産経営安定法が成立するなど、農業政策対応に迫られた1年でありました。

J Aとしましては、今後とも組織をあげて必要な農政運動や国民理解に向けての情報発信、J A経営基盤の強化をはかり、組合員の不安を払拭し、持続可能な農業の確立をめざして、さまざまな対応を行って参ります。

さて、現在J Aグループ北海道は、第28回J A北海道大会のメインテーマである「北海道550万人と共に創る力強い農業と豊かな魅力ある農村」の実現に向けた決議事項に基づき、



- | | |
|----------------------------|-------|
| ◆代表理事組合長 | 熊谷 留夫 |
| ◆代表理事専務 | 浦島 規生 |
| ◆常務理事
(学識経験者) | 北野 和男 |
| ◆理事
(総務委員長・農家経済対策特別委員) | 神成 博美 |
| ◆理事
(業務委員長・農家経済対策特別委員) | 藤田 元弘 |
| ◆理事
(農家経済対策特別委員長・業務委員) | 草野 恒之 |
| ◆理事
(総務副委員長・農家経済対策特別委員) | 真田 佳則 |
| ◆理事
(業務副委員長・農家経済対策特別委員) | 村上 聡和 |
| ◆理事
(農家経済対策特別副委員長・総務委員) | 江花 秀一 |
| ◆理事(総務委員) | 山田 剛 |
| ◆理事(総務委員) | 吉井 鉄也 |
| ◆理事(業務委員) | 米田 浩幸 |
| ◆理事(業務委員) | 櫻井 盛明 |
| ◆理事(学識経験者/信用担当) | 加藤 護 |
| ◆代表監事 | 山本 英之 |
| ◆常勤監事(員外監事) | 吉尾 豊 |
| ◆監事 | 柏倉 秀伸 |
| ◆監事 | 太田 満 |
| ◆監事 | 福田 弘行 |
| | 外職員一同 |



その実践をはかっているところであり、本年はその総括年度となります。

さらに、当組合の農業振興計画（第9次中期5カ年）の総仕上げにあたる重要な年でもあります。

社会情勢に影響を受けるかのように改定されていく農業関係法制の改正、新たな米の生産計画に見られる、これまでとは大きく異なる政策転換など、時代とともに刻々と変化する環境や課題に対し、いかに組合員の英知を結集し、実践していくかが

地域農業を守り、発展させる力ギとなっています。

そうした意味からも、協同組合は今後も組合員の営農と生活を守る地域の拠り所として、その役割や機能を高めていくことが求められると考えております。

ご承知のとおり、当組合は、本年記念すべき創立70周年を迎えました。節目を機に、地域に根ざした組織として、これからも組合員の負託にこたえ得る組織として、さらなる飛躍に向けたステップの年にしたいと思う

ものであります。

今年の干支は「戌（いぬ）」です。一説には、戌は「茂」に通じる味があり、植物の生長が絶頂期にある状態を表しているとのことでもあります。

今年はこの戌年にあやかり、豊穡の一年となりますよう、併せて、組合員ご家族の皆様の健康とご多幸を心からご祈念申し上げます。

トピックス JAこの1年 TOPICS of year

平成29年は早い雪解けから始まりました。春先は低温推移で風害もあり、前年の台風を思い起こすこともあったものの、夏以降は順調な作業となりました。

美瑛ブランドづくりを柱に

当JAにおきましても、タスマニア州政府との人材育成連携による美瑛の将来を担う農業者の育成をはじめ、馬鈴薯面積拡大に向けた大型のポテトハーベスターの活用や、販売会社の立上げなど、組合員所得向上に向けた取り組みを強化しております。美瑛ブランド向上の柱である美瑛選果も、はや10周年を迎え、賑わいを見せた美瑛農業の1年間を振り返ります。

とまと生産部会総会・50周年記念式典



営農研修会



新年交礼会



タスマニア州政府との調印式



2017年の動き 地域づくり、事業活動を振り返って

1月

◆ 仕事始め

◆ 豊穰・安全祈願祭

◆ 新年交礼会

◆ 事業計画診断

◆ JA組織体制検討委員会

◆ とまと生産部会定期総会・50周年記念式典

◆ 業務委員会・施行委員会

◆ 総務委員会・営農技術研修会

◆ 穀類乾燥調製貯蔵施設復旧工事安全祈願祭

◆ 第23回理事会・組織体制協議役員協議会

2月

◆ メロン生産部会定期総会

◆ JAびえい杯ゲートボール大会

◆ 女性部定期総会

◆ タスマニア研修報告会

◆ 青年部定期総会

◆ フレッシュユミセス定期総会

◆ 麦作生産部会定期総会

◆ 実践農業講座

◆ 種子馬鈴薯生産組合定期総会

◆ 馬鈴薯生産部会定期総会

◆ 豆作生産部会定期総会

◆ 第24回理事会

◆ アスパラ生産部会定期総会

◆ にんじん生産部会定期総会

◆ タスマニア州政府との調印式

3月

◆ 機構改革、新体制でスタート

◆ 農家経済対策特別委員会

◆ 第62回地区懇談会

◆ 酪農振興部会定期総会

◆ 美瑛牛乳発売10周年記念式典

9日 9日 8日 6日 1日 28日 27日 21日 17日 16日 15日 14日 14日 13日 8日 7日 7日 6日 6日 3日 30日 30日 27日 24日 20日 18日 16日 6日 6日 6日

新農業人研修修了
証書授与式



第66回通常総代会



美瑛牛乳10周年
記念式典



JAびえい販売
株式会社開所式



年金友の会定期総会



丘のまちびえい
ヘルシーマラソン



◆役員報酬審議会	10日	◆肥料選定会議	9日	◆新農業人激励の集い	11日	◆美瑛牧場落成式	12日	◆美瑛トマト美瑛町への寄贈式	15日	◆美瑛町表彰審議会	17日	◆豪州在札幌領事館／商務官打合せ	17日	◆美瑛アグリサポート(株)トマト初出荷神事	17日	◆美瑛町土地開発審議会	19日	◆美瑛アグリサポート(株)株主総会	26日	◆フェルムテール美瑛竣工式	26日	◆美瑛通運株主総会	27日	◆5月	◆酪農ヘルパー組合定期総会	27日	◆乳牛検定組合定期総会	25日	◆エソシカ被害防止対策連絡協議会総会	25日	◆美瑛町日本で最も美しい村づくり協議会総会	21日	◆美瑛町高齢者事業団定期総会	20日	◆模擬火災訓練	18日	◆共済決起大会	18日	◆朝会	14日	◆年金友の会総会	13日	◆北瑛小麦の丘運営協議会総会	11日	◆農業技術実証展示園運営協議会定期総会	11日	◆美瑛町農業再生協議会総会	5日	◆第66回通常総代会	3日	◆組織体制検討委員会	3日	◆朝会／新規採用辞令交付	3日	◆4月	◆豆採種生産部会定期総会	31日	◆新農業人研修修了証書授与式	27日	◆青年部春季研修会	23日	◆JAびえい販売株式会社開所式	21日	◆浦氏宇都宮賞受賞祝賀会	17日	◆第25回理事会	16日	◆監事会	16日	◆酪農婦人部定期総会	14日	◆人づくり実践推進セミナー	13日	◆役員報酬審議会	10日
----------	-----	---------	----	------------	-----	----------	-----	----------------	-----	-----------	-----	------------------	-----	-----------------------	-----	-------------	-----	-------------------	-----	---------------	-----	-----------	-----	-----	---------------	-----	-------------	-----	--------------------	-----	-----------------------	-----	----------------	-----	---------	-----	---------	-----	-----	-----	----------	-----	----------------	-----	---------------------	-----	---------------	----	------------	----	------------	----	--------------	----	-----	--------------	-----	----------------	-----	-----------	-----	-----------------	-----	--------------	-----	----------	-----	------	-----	------------	-----	---------------	-----	----------	-----

ライスセンター
安全祈願祭



わくわく農感塾



ポテトハーベスタ収穫実演会



いぬ



組織活動交流会

成



あぐりスクール in びえい

どかんと
農業まつり



◆新区画ダム通水式	30日
◆森林組合通常総会	31日
6月	
◆第27回理事会	1日
◆施行委員会	1日
◆獣魂祭	2日
◆バッキーセンター地鎮祭	7日
◆豪州大使打ち合わせ	8日
◆美瑛町農業所得税対策協議会定期総会	9日
◆トマト生産部会消流懇談会	20日
◆旭川農業高校インターンシップ受け入れ	21日
◆馬鈴薯生産部会フィールドデイ	23日
◆冷凍施設完成引き渡し	23日
◆組織再編検討委員会	28日
◆馬鈴薯収穫機／バリトロン安全祈願祭	30日
◆第28回理事会	30日
◆第23回監事会	30日
7月	
◆平成30年度新規採用職員筆記試験	1日
◆農家経済対策特別委員会	4日
◆馬鈴薯生産部会消流懇談会	5日
◆組織活動交流会	11日
◆施行委員会（穀類乾燥貯蔵施設復旧工事引渡	11日
◆業務委員会	11日
◆ライスセンター運営協議会／同安全祈願祭	11日
◆白金模範牧場運営協議会定期総会	14日
◆第29回理事会	21日
◆ジエネシス美瑛定期総会	22日
8月	
◆上半期決算棚卸	1日
◆朝会	17日
◆JAびえい販売（株）取締役会	18日
◆どかんと農業まつり	19日
◆米政策、収入保険制度農水省意見交換会	21日
◆百合根消流懇談会	23日
◆第30回理事会	31日
◆美瑛選果取締役会	31日

獣魂碑移設
入魂祭



美瑛選果 10 周年美瑛マル
シェ in 有楽町



酪育ミルクアカデミー



美瑛小
バイキング給食



農業懇談会



パッケージセンター竣工式



青年部・フレッシュ
ミセス会交流会
スマニアとのテレビ
会議

◆美瑛町へ鏡餅謹呈	◆第34回理事会	◆業務委員会	◆総務委員会	◆青年部冬期研修会	◆人事評価委員会	◆穀類施設運営協議会	◆馬鈴薯生産部会評議員研修会	◆農業振興機構理事會	◆パッケージセンター竣工式	◆第44回集落代表者研修会	◆12月	◆穀類施設終了式	◆青年部・Fミセスミニバレー大会	◆JA北海道大会実践フォーラム	◆東京美瑛会総会	◆米・食パンの贈呈式	◆農協法公布記念朝会	◆タスマニア研修生激励会	◆中学生テンプルマナー講習	◆消防設備点検	◆第32回理事会	◆農業懇談会	◆11月	◆議会所管事務調査／穀類	◆日本農業新聞推進	◆村上牧場上川共進会最優秀受賞祝賀会	◆ビエイティフル認定商品認定証授与式	◆高卒採用筆記試験	◆10月	◆第31回理事会	◆模擬火災訓練	◆JAびえい杯パークゴルフ大会	◆美瑛町開拓記念式典	◆組織検討委員会	◆美瑛町畜産クラスター協議会定期総会	◆農家経済対策特別委員会	◆9月
28日	26日	22日	20日	19日	15日	12日	11日	8日	7日	1日		30日	29日	21日	18日	17日	17日	16日	16日	9日	2日	1日		27日	24日	19日	16日	3日		29日	27日	26日	15日	13日	7日	6日	

美瑛産小麦粉空を飛ぶ

好評、もちもち感の

「ゆめちから、きたほなみ」

美瑛町畑作物の主幹品の一つ小麦の29年作付けは3,291畝で昨年比48畝増と作付け依存度は年々高まる現状にあります。春小麦の作付けは751畝、秋小麦2,540畝で昨年比72畝の増反となり小麦全体では春小麦から、秋小麦にシフトする傾向となつていきます。本町の農業生産を大きく左右させる小麦は確実に収穫し、良質な調整品を市場供給することと連動して生産者経済に結び付けるためには単位収量を確

フランスパンの本場で食パン人気

保することも条件となつていきます。本組合では美瑛産小麦の付加価値アップに製パン適性の高い「ゆめちから」の試験栽培を行ってきたところ。美瑛産小麦を使用した小麦の商品化に向けては、美瑛選果を始め千歳空港店、東京有楽町店の運営、プロデュースを当JAと行い、販売戦略も行ってきた(株)ル・ステイル及び(株)美瑛ファームの代表取締役西川隆博氏とともに連携を重ねてきました。



オープンイベントで挨拶の熊谷組合長(上)現地スタッフから試食のパン、サンドウィッチの提供(中)技術の高い日本人職人が人気のパンづくり

写真撮影マナー向上の手立て町映像協会が設立されました

美瑛町の四季折々の景観は、国内はもとより世界的にもその名が知れるようになり観光入込の大きな原動力になっています。反面、農村景観の主役でもある農地への無断立ち入りによる作物の踏圧、病気持込みの恐れなど農業者から苦情が寄せられているのも現状です。特に外国人によるマナーを守る啓発も決定的な解決策にならない状況から、行政、農業者とも頭痛のタネとなっています。農地保全に向け写真・映像の撮影マナーやルールを定めて普及する「NPO町映像協会」が12月21日に設立されました。同会の事業としてはマナー向上に係るもののほか撮影スポットの整備に係る事業が計画され総予算12,500千円の範囲で事業が進められます。

同氏は「食の都、フランスのパリ」に食パンとサンドウィッチの専門店「キャレパン・ド・ミ」を新規に開店。熊谷組合長他JA関係者が11月7日この開店に合わせ同店を訪れオープンを祝いました。この店は「きたほなみ・ゆめちから」を使用した美瑛産小麦粉を原料に、これまでになく美瑛小麦使用品種が特徴の、もちもちとした食感に仕上がり、独特の食感が評判を呼び人気の店となっています。オープンイベントで熊谷組合長は「美瑛は美しい丘が農業を育んでいる。安全で安心な美瑛小麦を食して頂きたい。産地としても小麦のブランドづくりに大いに期待しています」と挨拶。

人気の原点、高たんぱく小麦生産技術

な食パンとトーストに嗜好される山型の2種類を販売。西川社長こだわりのあつて、信頼の高い日本人のパン職人を現地に派遣。今のところ1日100本が限度であるものの職人が多くなれば日量500本を目指すとしています。西川社長は美瑛産の小麦粉について「美瑛町の小麦生産者が高たんぱくの、ゆめちからをつくる技術がフランスで人気のパンをつくる原点になつている」と断言しています。フランスは美しい村との関連もあり店内には浜田町長から贈られた写真集が置かれ関心を集めているとのこと。美瑛産小麦粉が空を飛びフランスに渡って「巴里っ子」の食通を満足させることで美瑛産小麦のブランド化が前進したことになります。

焦点 FOCUS

～経済通が視る農業、農協(その②)～ 農協改革、TPP、種子法は 食料安保を壊す政策

株式会社は利益がないことはありません。農協は協同組合なのでやらなければなりません。国家全体の安全保障あるいは地域の暮らしを守るために、各種サービスを提供する役割を農協は担っているのです。もう一つが食料安全保障ですが、農業には2種類あって、国民の胃袋を満たすための国民農業とお金目的の商業農業。食料安全保障を語るうえで、国家が国民農業を守ることは当たり前のことなんです。ところが、国民農業をぶち壊し、儲かる商業農業へ転換している馬鹿な国、それが日本です。農協改革、TPP、種子法廃止とすべて日本の食料安全保障をぶち壊す政策で、国民も賛成しているのが実態です。

そもそも、政府は目的を勘違いしてしまして、政府の目的は利益ではなく、世をおさめ民を救うという経世済民、平たく言うと国民を豊かにするための政治をすることなのです。安倍政権はデフレ脱却をめざして発足した政権で、それこそが使命という感があります。所得の縮小と物価の下落が悪循環して進行していくことをデフレーションといいます。

人口減少ですが、世界には日本を上回る勢いで人口が減少している国が18カ国あります。ジョージアの人口減少ペースは毎年1.3%、バルト三国のラトビアは1.1%です。

日本の人口減少率は0.2%とわずかです。しかし人口減少国の中でデフレなのは、日本だけなのです。経済成長できていないのは、デフレのせいではなく、本来の供給能力に対し総需要が少ない、この差をデフレギャップといいます。日本国内で米の生産量1000万トンに対し需要は600万トンと400万トンの需要不足というデフレギャップが生じますが、このギャップを埋めることができる存在は政府しかないのです。政府が消費もしくは公共投資でギャップを埋める、これがデフレ対策です。（三橋貴明氏講演から/次号へ）

30年産畑作物作付けのめやす 畑作物作付け指標地区配分に



道農協畑作・青果対策本部は12月8日、本部委員会を開き、平成30年産畑作物作付け指標面積を設定し、地区配分した。30年産については従来どおり①輪作体系の確立②需要動向を踏まえた生産③各種農業制度の堅持の3つの観点から、意向面積も加味して設定しており、品目別では、麦が12万6090ha（前年指標対比41.5%減）、豆は6万8605ha（18.5%増）、馬鈴しょは5万6203ha（同22.9%増）、てん菜は前年と同じ6万6000haで、畑作4品合計では前年指標並みの31万1417haとなった。

麦は面積減、豆類は増反に

このうち指標面積と意向面積との開きが大きいのは小豆、菜豆、でん粉原料用馬鈴しょ、てん菜などで、いずれも意向が指標を大きく下回っている。麦のうち、秋まき小麦は実面積、春まき小麦は意向面積で設定。小麦全体では前年実績に比べると771ha増えている。このほか、大麦は意向面積の1561ha（前年実績比15.9%減）で設定した。豆類のうち、小豆類は安定した需要が見込まれ、前年からの繰り越し数量も減少する見込みにあることから、指標面

積は前年指標を2000ha上回る2万2000haと設定。ただし、意向面積は前年実績から横ばいの1万7078haにとどまっており、指標に比べると4922ha下回っている。菜豆は前年指標を170ha下回る8930haで設定したものの、これも意向面積は前年実績から横ばいの6452haで、金時をはじめ各品目で指標を下回っている。一方、えんどうと黒大豆は需給環境を鑑み、意向を下回る指標面積に設定。大豆については意向面積での設定としたが、前年実績に比べると1739ha下回っている。なお、意向面積と前年実績を比較すると、豆類の中では、ほぼ大豆の意向面積だけが減少した格好となっており、小豆など需給環境が改善に向っている品目に、今後どの程度作付けがシフトするかがポイントとなる。馬鈴しょのうち、生食・加工・種子用は意向面積を基本とした設定となっており、前年実績に比べるといずれも微減。てん菜は、指標面積6万6000haと併せて、意向面積に基づく実践指標を5万8376haと設定。前年実績に比べると微増となっている。



営農ガイド

大雪地区 普及センター 農業改良

EINOUE GUIDE

農林水産省が12月5日に発表した道内の水稲作況指数は、103の「やや良」（上川は102）となりました。平年を上回るのは7年連続です。美瑛町の収量は「平年並」であり、穂数は少ないとの声が聞かれましたが、屑米は少なく収量を確保できました。品質は、タンパクは低く（6・8%以下

出荷量36%）「ゆめぴりか」の白未熟粒の発生は少ない傾向でした。歩留まり品質共に昨年とは異なる傾向でした。一方、生育の遅い「ななつぼし」では、青米の混入が目立つほか、品質は低下する傾向でした（粒厚が厚く、9月中旬以降気温低下で登熟緩慢のため）。

平成29年の水稲をふりかえって

1 平成29年の生育の概要（表1）

融雪期は、平年より2日早く、昨年同様には場の乾きは良好でした。

は種期は平年並、4月中旬の曇天により、出芽に時間がかかる傾向でした。4月18日の強風害では、ハウス損壊や苗被害がみられました（瞬間最大風速29m/s）。

5月上旬の気温はやや高く、4月の遅れを取り戻し、5月15日の生育調査では平年並、その後の気温は高く推移し、移植時の苗質は、徒長・老化苗傾向となりました。活着は良好で、6月1日の生育調査では1日早となりました。

6月は断続的な低温日照不足により生育は停滞、分げつ始は1日遅れ、6月15日の生育調査では2日遅れ、幼穂形成期は1日遅れとなりました。

現地では茎数確保が困難な場合もみられたものの、作況においては影響がなく、7月1日には平年対比114%となりました。

7月は高温多照で経過しましたが、最

終葉数が多く出穂に時間がかかり出穂期は7月26日と1日遅れとなりました。

出穂開花時期も好天で経過しましたが、8月3・6半旬の低温により、8月15日で2日遅れ、9月1日で3日遅れとなりました。

さらに、9月3半旬の低温により、成熟期は9月15日と4日遅れ、収穫期は4日遅れ、収穫終は6日遅れとなりました。9月18日には強風により倒伏したほ場もみられました。

成熟期における収量構成要素及び収量は、平年を上回りました（表2）。

2 次年度に向けて

（1）気象変動に左右されない米作り
ここ数年は、5月上中旬は気温が高く（老化苗）、6月は低温日照不足（初期生育不良）、8月中旬以降は低温登熟不良となるなど同様の天候周期をたどっています。

どのような天候下においてもリスクを最小限に留められるように今一度基本技

表2 大雪地区作況ほ 収量構成要素及び収量

成苗ななつぼし	平成29年	平年	対比(%)
m当穂数(本)	650	604	107
一穂粉数(粒)	56.8	53.7	106
m当総粉数(粒)	36,861	32,485	113
稔実歩合(%)	97.7	94.9	103
m当稔実粉数(粒)	36,006	30,842	117
千粒量(g)	22.9	22.7	101
登熟歩合(%)	78.0	88.4	88
精玄米重(kg/10a) (畝い目1.9mm)	657	647	102

※粉数が多く、収穫は勝った。

表1 作業期節 及び 生育期節

<作業期節：大雪地区(3町)>

項目	は種始	は種期	は種終	移植始	移植期	移植終	収穫始	収穫期	収穫終
本年	4月13日	4月17日	4月23日	5月17日	5月21日	5月27日	9月16日	9月24日	10月5日
平年	4月13日	4月17日	4月22日	5月19日	5月23日	5月27日	9月13日	9月20日	9月29日
差	0	0	遅1	早2	早2	0	遅3	遅4	遅6

<生育期節：大雪地区(3町) 成苗ななつぼし>

項目	出芽期	活着期	分げつ始	幼穂形成期	止葉期	出穂始	出穂期	出穂揃	成熟期
本年	4月24日	5月27日	6月6日	6月27日	7月15日	7月22日	7月26日	7月31日	9月15日
平年	4月23日	5月27日	6月5日	6月26日	7月15日	7月21日	7月25日	7月30日	9月11日
差	遅1	0	遅1	遅1	0	遅1	遅1	遅1	遅4

術を見直しましよう。

育苗日数は30日以内を目標に

育苗中後期が高温になりやすいことから、成苗ポットでは「老化苗」となる恐れがあります。老化苗は、分げつ不足や穂揃性悪化の要因です（特に、ななつぼし）。温度管理に注意し、育苗日数の適正化に努めましよう（30日で4葉確保は可能）。

初期生育確保

「早植（適期内の）」「深植にしない」、「深水にしない」「側条施肥」は初期生育確保に有効です。

生育を早める

同じく「早植（適期内の）」「初期生育確保」が大切です。また、土壌にあわせ

た適正な施肥量でムリなく作ることも大切です。

不稔防止対策

豊作が続く、冷害対策への意識が薄れつつあります。畦塗りなどによる「畦高の確保（30〜40cm）」と「適正施肥（多窒素は不稔を高めるため注意）」に心がけましよう。

（2）ウンカの発生に注意

バズ顆粒水和剤の普及と本田防除回数
の減少により、田んぼ内で少しずつウンカの発生が目立つようになっています。ウンカ（ヒメトビ）は畦で越冬します。密度を高めないように、ウンカに有効な剤を選択ましよう。

（3）紋枯病・疑似紋枯病発生に注意

近年、夏の平均気温上昇により、紋枯病や疑似紋枯病の発生が目立つようになっています。いずれも、菌核を残すことから、夏の好適環境が続くと年々密度は高まります。

防除が必要な場合はまだ少ないですが、ほ場を良く観察し、発生動向に注意ましよう。

株元から感染し、次第に上位へ進展するので重症株では収穫期には節から折れ、止葉が枯れ上がり収量品質が低下します。

も見受けられます。
ケイ酸資材にはケイ酸分のほか、複数の微量要素も含まれています（平成29年は微量要素欠乏と思われるほ場が目立つ傾向でした）。
需給調整により米価も持ち直しつつありますのでぜひ施用を検討ましよう（毎年最低80kg/10a以上）。
（5）育苗時のかん水不足について
成苗ポットでは、出芽後のかん水不足により出芽率が低下する事例がみられます。置床吸水を始めるまでは、水分不足に注意ましよう。

野菜

平成29年は、融雪が平年よりも4日早まりました。4月中旬は曇天でしたが、5月は好天に恵まれ、気温が高く推移しました。6月は低温で曇天が多くなり、各作物の生育遅れの要因となりました。しかし、7月は気温が高く推移したため、生育の回復に繋がりました。8月以降の気温は平年より低く推移し、8月中旬と9月中旬は曇天の傾向となり、農作物の管理に苦労した1年となりました。

果菜類

1 トマト

① 促成・半促成作型

4月下旬から5月下旬までの好天により着果・肥大は順調で、共選は例年より早い5月15日の開始となりました。5月は気温が高く推移したこともあり、果実の肥大が急速に進んだことや、カルシウムの果実への転流が遅くなり、尻腐れ果が低段位に見られました。7月上旬から

花落ちが見られたとともに軟化玉の発生が見られました。
② 抑制作型
5月21日以降の定植となる抑制作型は、促成・半促成栽培同様に低段位で尻腐れ果が多く見られました。

前年と同様に気温や日照時間が確保されたことから、平成29年度の出荷量は前年対比約102%となりました。

③ 病害虫

病害は、6月と8月中旬以降の低温と

曇天により、灰色かび病の発生が多くなりました。害虫は、アザミウマ類の発生が昨年と同様、6〜7月に多く見られ、アザミウマ類による白ぶくれ症状の果実が散見されました。

2 スイートコーン（生食用）

は種作業は例年よりも早く（5月中旬）行われました。出芽は順調でしたが、6月の低温と曇天により生育は遅れました。その後、7月上旬から気温が高く推移したことにより、生育が回復し、収穫は平年並みの8月上旬から始まりました。

今年の雌穂は、細身でポリウムがやや劣り、また先端不稔が若干見られました。

3 さやいんげん

は種時期は前年並みの5月20日頃から始まりました。

出芽後の育成は、6月の低温、曇天により、遅れが見られました。7月上旬以

降、天候回復が見られたものの、開花時期が7月上旬以降まで遅れたため、収穫時期は平年より遅く、7月27日頃から始まりました。

病害虫で例年発生が見られるタネバエの被害については、今年はほぼ見られませんでした。着莢数は平年並みとなりました。

葉茎菜類

1 ゆりね

4月下旬からの好天により初期生育は順調に経過しました。その後、6月の低温と曇天、8月上旬〜中旬は少雨で経過し、相対的に前年よりりん茎の肥大は順調に経過しました。

目立つた病害虫の発生はありませんでしたが、葉先枯れが一部で見られました。また、鱗茎さび症、あんど症の発生が例年より少ないものが見られました。

2 たまねぎ

融雪が早く、直播と移植は早いほ場で4月下旬からほ場条件が良好な中で作業が進められました。直播は比較的順調に出芽期を迎えました。生育は6月の低温の影響を受け、生育が若干遅れたものの球肥大は良好でした。倒伏期の平均は、移植で7月下旬と平年よりやや早く、直播も同様に早まり8月中旬となりました。その後は、肥大状況を確認しながらの根切り作業となりました。

収穫は、移植で9月上旬から始まりましたが、直播は9月中旬からの長雨の影響もあり、9月下旬頃からの収穫となりました。

病害虫は地域によって、ネギハモグリバエの被害が見られ、移植では一部で軟腐病と乾腐病の発生が見られました。

洋菜類

1 グリーンアスパラ

融雪後、4月下旬～5月の好天により

畑 作

平成29年産の小麦は、多収年だった平成27年、28年産と比較すると、細麦傾向により、低下しましたが、平年に近い収量となりました。他の畑作物では相対的に多収が得られるなど、豊作基調となりました。しかし、作柄が良い状況ではありませんでしたが、輪作や土壌養分の適正化、有機物を活用した土づくり、排水対策の実施など、安定生産には基本技術は重要です。冬期間のうち、次年度に向けた課題を整理しましょう。

1 秋まき小麦（きたほなみ）

(1) 雪腐病等による冬損

平成28年は、秋の長雨とともに、10月下旬からの降雪もあり、平年よりも20日以上も早い根雪となりました。積雪期間

収穫は5月中旬から始まりました。しかし、6月上旬の低温によるアントシアンの発生や強風による曲がりなどが一部でありました。収穫は6月下旬まで行われましたが、低温の影響もあり、前年より収穫量が減少しました。

病害虫は、収穫期間中、ジユウシホシクビナガハムシの被害が散見され、9月頃にはヨトウムガの被害がやや多くなりました。斑点病の発生は少ない状況でした。

2 ブロッコリー

融雪が早かったこと、4月下旬～5月の好天により、ほ場条件が良好なため、定植時期は例年より早く進みました。

しかし、6月の低温による生育の遅れとともに早出し作型では、不整形花蕾の発生が若干見られました。7月上旬以降天候が回復したこともあり、花蕾腐敗病、軟腐病の発生は少ない状況となりました。害虫ではヨトウムシの発生量は多く、コナガの発生量は若干多い状況でした。

表1 美瑛町における根雪始・融雪期の平年差

項目	根雪始	融雪期	根雪期間
H 29	11月3日	4月7日	155
平年	11月27日	4月9日	133
平年差	24日早い	2日早い	22日長い

(2) 越冬後の生育経過

融雪期が平年よりも2日早く、起生期は5日早まりました。起生期以降、4月の気温は平年並、5月は下旬まで高く推移したこともあり、幼穂形成期は4日、止葉期は5日早くなりました。6月の低温により生育は停滞し、ほ場間で出穂のバラツキが見られ、出穂期、乳熟期は平年並となりました。7月は気温が高く推移しましたが、下旬が天候不順だったこともあり、成熟期は平年並でした（表2）。

生育が早めに経過したため、草丈・稈は長くなりました。雪腐病の被害が多いほ場では茎数不足となりましたが、被害が少ないほ場では、穂数は確保できました（次頁図1）。

(3) 病害虫の発生状況

眼紋病は、連作圃場でスポット的な発生による倒伏が見られましたが、発生量は少なく、うどんこ病は追肥窒素量が多いほ場で、散見されました。赤さび病の発生は無く、赤かび病は少発生となりました。

表2 秋まき小麦の生育期節・農作業期

項目	生育期節				農作業期		
	起生期	幼穂形成期	止葉期	成熟期	収穫始	収穫期	収穫終
H29	4月15日	5月7日	5月27日	7月20日	7月24日	7月27日	8月2日
平年	4月20日	5月11日	6月1日	7月20日	7月23日	7月26日	8月1日
遅速	5日早	4日早	5日早	±0	1日遅	1日遅	1日遅

表3 秋まき小麦（きたほなみ）の収量構成要素（美瑛町作況）

項目	m ² 当り 穂数（本）	1穂粒数 （粒／穂）	千粒重 （g）	子実重 （kg/10a）	歩留※ （％）
本年	606	27.8	41.9	705	90
平年	566	30.9	40.4	706	89
平年比（％）	107	90	104	100	101

※1穂粒数・千粒重は2.3mm 網上、歩留は、J A実績を引用

(4) 作柄に影響を及ぼした要因

「きたほなみ」は穂数が少ない状況でも多収を望める品種であること、起生期追肥の肥効が高まったこと、出穂期までの生育日数が長く、穂数が確保できたこと、千粒重も平年並だったことなどから、平年並の収量となりました（表3）。

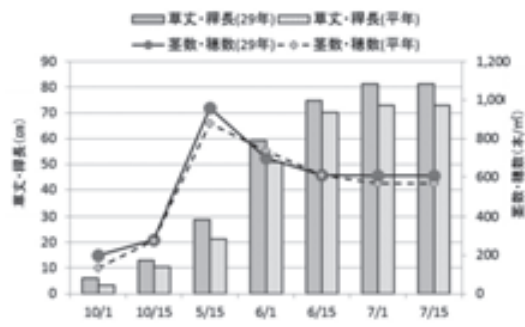


図1 秋まき小麦の生育経過

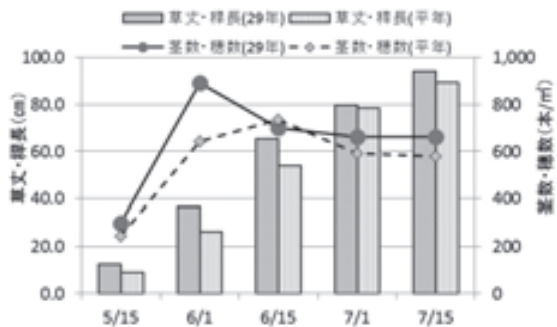


図2 春まき小麦の生育経過

2 春まき小麦（春よ恋）
(1) 生育の経過（表4）

融雪期が早まり、早いほ場では4月10日前後に、は種作業が始まりました。中旬に降雪がありましたが、は種期は平年より4日早くなりました。
5月1半旬の気温が高くなったため、

出芽揃が良く、出芽期は平年より5日早くなりました。5月は気温が高く推移し、平年を上回る生育でした。6月の低温により生育は緩慢となり、止葉期・出穂期は平年並、7月からの高温により、登熟が進み成熟期は平年より2日早まりました。

(2) 病害虫の発生状況

うどんこ病はここ数年同様、出穂前からの発生が目立ちました。赤かび病は出穂後の多湿条件によりほ場内で散見されましたが、被害に至る程ではありませんでした。害虫による被害は認められませんでした。



表4 春まき小麦の生育期節・農作業期

項目	農作業期			生育期節				農作業期		
	は種始	は種期	は種終	出芽期	止葉期	出穂期	成熟期	収穫始	収穫期	収穫終
H29	4月17日	4月21日	5月2日	5月3日	6月12日	6月21日	7月20日	8月5日	8月7日	8月10日
平年	4月21日	4月25日	4月29日	5月8日	6月12日	6月21日	7月20日	8月4日	8月8日	8月12日
遅速	4日早	4日早	3日遅	5日早	±0	±0	±0	1日遅	1日早	2日早

表5 春まき小麦の収量構成要素（美瑛町作況）

項目	登熟期間※ (日間)	m ² 当り 穂数（本）	1穂粒数※ (粒/穂)	千粒重※ (g)	子実重 (kg/10a)	歩留 (%)
H 29	42	667	17.9	39.5	473	87
平年	44	578	23.0	40.3	535	84
平年比 (%)	95	115	78	98	88	104

※登熟期間は出穂期から成熟期までの期間
※1穂粒数・千粒重は2.3mmの網上より

(3) 作柄に影響を及ぼした要因
穂数が多く、倒伏も目立ったこと、7月からの高温で、登熟期間が短くなったことなどから、細麦傾向となり製品収量は低くなりました（表5）。

3 小豆（きたのおとめ・しゅまり）
(1) 生育の経過

5月は少雨で経過し、は種作業は5月20～25日の短期間で進められ、は種期は概ね平年並となりました。出芽期は平年並でしたが、6月の低温により生育は緩慢となり、草丈・葉数は平年を下回る状況でした。しかし、7月からの高温により、開花期は平年並となりました。開花後は、気温が高く、草丈が短期間で徒長し、8月中旬には平年を上回りました(図3)。8月末～9月初旬の低温により登熟期間が長くなったため成熟期は3日遅くなりました。

着莢数は、8月15日現在では、平年より多い状況でしたが、8月中旬までの生育が急激に生長したことで、着莢数は平年より少なくなりました(図4)。

(2) 病害虫の発生状況

6月下旬に降水量が多く、粘質土壌や平坦なくぼ地では、過湿状態となり、「水やけ症状」による黄化や茎疫病が散見され、耐病性のない品種では落葉病が見られました。

灰色かび病は例年に比べ少なく、害虫の発生も少ない状況でした。



表6 小豆の生育期節・農作業期

項目	農作業期	生育期節				農作業期	生育期間	
	は種期	出芽期	開花期	成熟期	収穫期	出芽期～開花期	開花期～成熟期	
H29年	5月23日	6月6日	7月23日	9月9日	10月4日	47	48	
平年	5月24日	6月6日	7月23日	9月6日	10月2日	47	45	
遅速	早1日	±0	±0	遅3日	遅2日	±0	3日長	

表7 小豆の収量構成要素

項目	m ² 当莢数 (個)	一莢内粒数 (粒/莢)	百粒重 (g)	収量 (kg/10a)
H29年	326	6.7	13.7	317
平年	424	5.9	11.4	258
平年比(%)	77	114	120	109

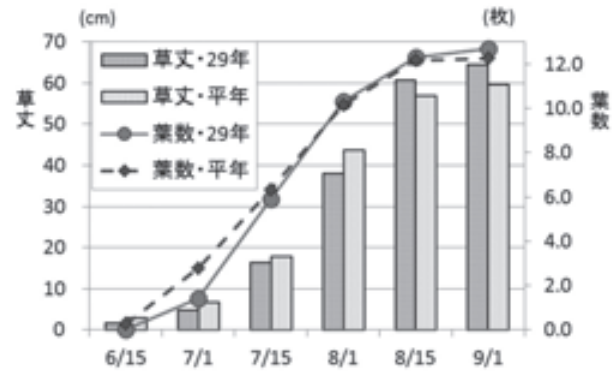


図3 小豆の草丈・葉数の推移（作況ほ）

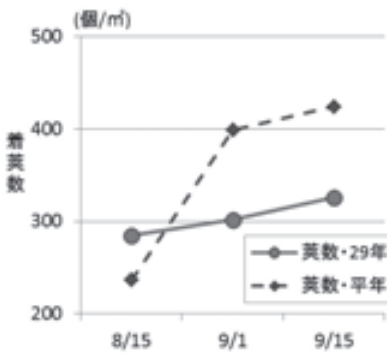


図4 小豆の着莢数の推移（作況ほ）

(3) 作柄に影響を及ぼした要因
着莢数は平年の77%と少なくなりましたが、小豆の結莢率（開花数のうち莢になる割合）は、40～50%です。開花後も伸長し、最大に達するのは開花始後20日前後となりますが、8月1日からの2週

間で生育が旺盛になったため、養分競合により着莢数が減少したものと思われる。一莢内粒数は平年の114%と多く、登熟期間が3日程長くなったこともあり百粒重は重くなりました(表2)。このため、子実重は平年より多くなりました。

熟莢が早くから着生すると、濃赤粒（色の濃い粒）となりますが、ある程度成熟が揃い、色ムラが少なく、品質は比較的良好年となりました。



表8 ばれいしょの生育期節・農作業期

年度	生 育 期 節					農 作 業 期					
	萌芽期	着蕾期	開花期	終花期	茎葉黄変期	植付始	植付期	植付終	収穫始	収穫期	収穫終
29年	5月27日	6月15日	7月1日	7月13日	8月7日	4月26日	5月5日	5月14日	8月21日	9月11日	10月10日
平年	6月1日	6月15日	6月28日	7月13日	8月7日	5月5日	5月13日	5月21日	8月29日	9月17日	10月9日
遅速	早5日	±0	遅3日	±0	±0	早9日	早8日	早7日	早8日	早6日	遅1日

4 ばれいしょ（男爵薯）
（1）生育の経過
融雪期が平年より早く、4月全般を通して少雨傾向で推移したことから、植付作業は平年より8日早く進みました。萌芽期は平年より5日早くなりましたが、

5月上中旬も少雨に経過したため、植付から萌芽までの日数は長くなり、萌芽がばらつきました。6月は、気温が低く推移したことから生育が停滞し、着蕾期は平年並となりました。7月は気温が高く、経過したため生育が進み、終花期は平年並となりました。7月4半旬から8月1半旬にかけ、降雨が多く推移しましたが、茎葉黄変期は平年並となりました。8月は、上中旬に降雨が少なく経過したため、収穫始は平年より8日早く、収穫期は6日早くなりました。その後、断続的な降雨により収穫終は10月10日まで遅れ、平年より1日遅くなりました。

（2）病害虫の発生状況
6月が低温寡照傾向だったため、疫病の初発がやや早くなりました。また、7月が高温多雨に経過したことから、軟腐病の発生がトヨシロで特に多くなりました。

（3）作柄
株当たり上いも数は平年より多く、少雨傾向もあり1個重が小さくなりました。小玉傾向とはなりましたが、いも数が確保でき、上いも収量、規格内収量は多くなりました。

（4）次年度の対応
今年度は生育のばらついたことから、初期生育を促進すること（浴光催芽および種子消毒の実施、適性土壌水分における耕起）が重要です。また、軟腐病の対策として、倒伏しないよう多窒素栽培を避け、適正施肥を行うこと、ほ場の排水対策を徹底すること、オキシニック酸の連用を避ける必要があります。

表9 ばれいしょの収量構成要素

年度	上いも数	上いも 1 個重	でん粉価	上いも収量	規格内収量	規格内率
	（ 個 / 株 ）	（g）	（%）	（kg /10a）	（kg /10a）	（%）
29 年	9.9	87	16.1	4,306	4,037	94
平 年	8.7	97	14.4	3,719	3,555	96
平年比	114	90	111	116	114	—



5 てんさい（カーベ2K314）
（1）生育の経過（表10）

4月の気温は平年並で5月は気温も高く推移し、少雨に経過したため、移植期は、平年より4日早まりました。移植後の好天もあり、活着は良好で初期生育も順調でした。6月からの低温や7月上旬の高温少雨時には、根部肥大がやや停滞しましたが、降雨によって肥大が回復する傾向もあり、収穫前の根周は平年並となりました。

収穫作業は、平成28年産の秋の長雨と早期積雪に苦労した経緯もあり、10月上旬から始まり、収穫期は1日早く、収穫終は7日早まりました。

（2）病害虫の発生状況

褐斑病は初発が遅く、平年よりも少ない発生量でした。また、根腐病、葉腐病は例年より少なく、収量に影響する病害虫の発生はありませんでした。

（3）作柄に影響を及ぼした要因

29年度は、初期生育が確保され、低温・高温、少雨などによる根部肥大が停滞した時期もありましたが、病害虫の影響が少なく、そう根病や褐斑病に強い品種の切り替えなどもあり、根重・糖分は平年を上回る実績となりました。

次年度に向けては、褐斑病のDMI剤・カスガマイシン剤の薬剤耐性も懸念されることから、発病の拡大を軽減させるため、初発からの防除が大切となります。また、初期生育の促進を図るため、融雪促進に努め、健苗を良好なほ場の状態で移植できる準備を心掛けることが重要となります。

表 10 てん菜農作業期

農作業期 出芽期	農作業期			農作業期			農作業期		
	は種始	は種期	は種終	移植始	移植期	移植終	収穫始	収穫期	収穫終
本年	3月11日	3月14日	3月21日	5月2日	5月5日	5月14日	10月9日	10月20日	10月23日
平年	3月11日	3月15日	3月22日	5月2日	5月9日	5月17日	10月11日	10月21日	10月30日
遅速	±0	早1日	早1日	±0	早4日	早3日	早2日	早1日	早7日

（1）飼料用とつものてんさい
（1）生育の経過と作柄の概要
は種作業は、早いほ場では5月上旬か

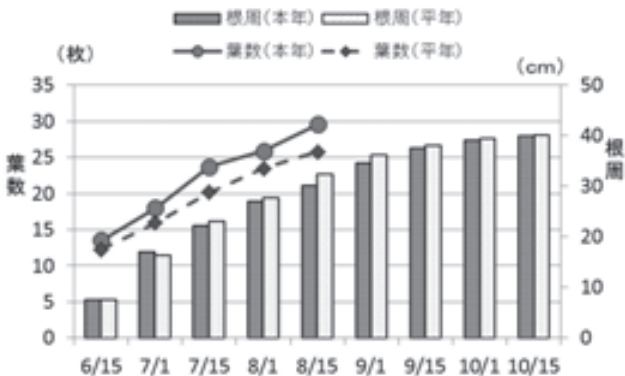


図 5 てんさいの生育経過（作況ほ）

表 11 てんさいの収量・糖分・糖量

年次	根重 (kg/10a)	根中糖分 (%)	糖量 (kg/10a)
H 29	7,170	16.9%	1,208
平年	6,170	16.0%	990
平年比	116	105	122

※平成 29 年は 12 月 17 日現在（日甜調）

ら始まりました。6月が低温傾向に推移した影響で、生育がやや緩慢となりましたが、7月前半の高温で、回復傾向となりました。しかし、8月中旬～9月中旬にかけての低温の影響で登熟が遅れました。

9月18日の台風18号の風雨により、多くのほ場で折損倒伏し、収穫口入はありませんでしたが、生育が旺盛だったこともあり、概ね収量は確保されたと思われます。

2 牧草

（1）1 番草の生育の概要

融雪期が平年より2日早まり、萌芽期も早まりました。5月前半が、やや少雨高温傾向にあり、生育が緩慢となりましたが、5月後半の適度な降雨と高温で生育は回復傾向となりました。

6月前半の低温傾向により、生育が緩慢となりました。

収穫作業は、6月中旬以降、曇雨天となり、作業の進捗は天気の合間をぬって進められました。

（2）2 番草

2 番草は、7月前半の少雨高温傾向により生育は緩慢となり、7月後半の多雨でやや回復しましたが、生育は平年よりやや遅くなりました。

収穫作業は、概ね平年並でした。

（3）1 番草・2 番草の収量の概況

1 番草は、融雪が早く萌芽期が早まり、その後の生育もほぼ順調に推移し、収量は平年並となりました。2 番草は、1 番草刈り取り後、7月前半が少雨高温傾向にあったため、2 番草の生育は緩慢となり、その後の生育もやや遅れていました。草丈は短かったものの、収量は平年並となりました。

本年もよろしく お願い致します

支所長

川 口 招 宏

地域第一係長

外 山 直 樹

地域第二係長

辻 英 敏

専門主任

吉 田 純 子

専門主任

新 井 菊 江

専門普及指導員

工 藤 淑 郎

専門普及指導員

堀 田 ひとみ

調査員

遠 藤 成 典

普及指導員

中 野 寛 之

普及職員

藤 本 周

(敬称略)

年頭のごあいさつ



地域戦略と経営改善の 継続で安定経営を

上川農業改良普及センター大雪支所

支所長 川 口 招 宏

輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

近年の気象は、気象変動が大きいのが特徴ですが、昨年も春季や秋季の多雨など農作業を進める上で大変苦労が多かった年となりました。しかし、昨年の出来秋は農家の方々の長年の経験による営農対応により目標に近い実績であったものと思います。

さて、北海道農業は、農家戸数の減少や高齢化の進行、労働不足の深刻化など地域構造の変動は続いています。そうした課題への対応を含め、道では、第五期の「北海道農業・農村振興推進計画」を策定し、その推進に努めています。このうち、担い手対策としては、新規就農者の育成・確保、法人化の推進やICTを利用した農業の推進など、多様な担い手確保の取り組みを進めています。また、農畜産物の高付加価値化や販路拡大には、農商工連携や6次産業化を進めると同時に国内

市場の縮小を踏まえて、輸出拡大への積極的な取り組みを強化しています。

美瑛町においても、新規就農者の研修施設の設置や美瑛選果を拠点とする高付加価値商品の開発・販売、農産物の輸出の取り組みなど、農業者が希望を持って取り組める環境づくりが進められ、その取り組みは、先進事例として注目されているところです。さらに、オーストラリアにおける豪州担い手研修は、農業やマーケティング等の研修はもとより、多くの可能性を秘めた取り組みでもあり、その成果を心待ちにする人も多いと思います。こうした取り組みの一方で、TPPや日欧EPAなど市場開放圧力の強まりや農業保険法（改正農業災害補償法）の公布、市場法改正や種子法廃止など国際情勢や農政の変動・改革にめまぐるしい動きが見られ、その動向を注視しているものと思います。

個々の農家の方々には、自己の農業

経営の点検や見直しを継続して取り組んで頂きたいと思います。特に、農業機械費などの原価償却費の大小によって農業所得率が上下する事例が見受けられます。規模拡大には効率的な作業が必要となることや人手不足対策など、様々な場面で最新農業機械やスマート農業関連機器の手助けが必要となることが想定されますが、費用対効果の検証も時として必要となります。また、現在所有の機械を長く使用するための手立ても重要となります。

一年間の営農活動で得た収益を「家庭内にどれくらい残せるか」が個々で取り組める国際競争だと言い換えることができるのではないかと思います。本年の営農に向け、経営成果の数値に基づく改善策への対応をお願いします。

本年が皆さんにとって良き一年となりますことを御祈念申し上げ、年頭の挨拶と致します。



新年の
ごあいさつ

協同の推進力、青・女性活動

地域貢献を軸に 農青活動

青年部部長

福田 寿行



新年明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、お健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、常日頃より青年部活動に對しまして多大なるご理解・ご支援・ご協力を頂いておりますことを、心より感謝申し上げます。昨年の青年部活動を振り返りますと、私の力不足もあり新規事業を推進することはできませんでしたが、その分一つ一つの活動に對して力を入れ、中身に変化をつけることができたように思います。

春の研修では、作業開始に向けての準備運動として「ヨガ」を取り入れ、はじめは、部員達も抵抗を感じていたように見えたが、体のほぐし方を習ったことで健康的になり、二日連続の猛暑日の中、出発した視

察研修も花・野菜技術センター、(株)ダンロップリトレットサービス、北海道セイカン工業、MSK農業機械(株)、美瑛選果千歳空港店とハードスケジュールをこなし部員同志の結束を高められたと感じております。

食育事業に關しましては、例年よりも1校増え、4校合同で田植えと稲刈りを行い、長年に渡り青年部として子どもたちに食の大切さを伝えてきた成果もあり、北海道新聞等各広報機関に取り上げてもらえるまで成長することもできました。

フレッシュミセス会との合同事業は、本年度もミニバレー大会を実施し、白熱した試合で大いに盛り上がりました。また、各種交流会や懇親会も楽しいひとときを過ごせることができたように思います。しかしな

がら、地元開催外の交流事業への参加は、やはり役員対応に偏った傾向となつてしまいましたが、部員一人一人の青年部に對する意識を改善すべき問題点だと改めて実感することもありました。

近年は、悪天候や自然災害、農業政策が大きく見直される中の農協改革と、思うような農業ができない状況になっておりますが、青年部は青年部らしい組織活動の実践と地域貢献を実践していこうと考えており、時には政策提言を行えるようにも努力してまいります。

皆さまには変わらぬご支援お願い申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。

部員が笑顔 で語る安息 の場に

女性部部長

山本 京子



新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃より女性部活動に多大なご理解・ご協力を頂き、心から感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、7月の九州の豪雨・雨の降らない梅雨・沖縄県の終わらない夏・黒潮の大蛇行など、全国的にも色々なことがありました。私たちの住む美瑛町でも、4月の強風・6月末から7月の高温・8月の局地的豪雨など近年の異常気

象には目を疑いたくなる被害が思い出されます。

世界に目を向けてみますと、アメリカのTPP離脱の中での一部農産品の関税撤廃、私たち北海道の女性農業者にとりまして安い輸入品が生活の中に入り込み衣食住にも多大な影響が出てくるのではないかと心配しております。北海道は自給率200%の「食の台所」とも言われておりますが、日本全体では自給率37%と言われ輸入に頼っている事実があります。農業者でありながら、

家庭では妻であり母でもある私たちに今何ができるのか。それが、今後考えなければならぬ課題ではないでしょうか。

女性部活動といたしまして、昨年より農閑期を利用したサークル活動を試みました。皆さまと笑顔で語り合いホッとできる場所になればと考えております。ご参加をお待ちしております。また、部員の減少、それと共に新規加入者も減少しておりますが、青年部・フレッシュミセス会の皆さまと連携を取りながらより良

この1年 組織活動 フォトアングル

気軽で楽しい 事業を念頭に

フレッシュミセス会
会長

佐藤 窓夏



い女性部活動ができますよう努力して参ります。皆さまのご支援・ご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

終わりにりましたが、残された任期を役員一同精一杯勤めさせて頂きたいと考えております。
今年一年が皆さまにとりましてよ

り良い年でありますよう心からご祈念申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、日頃よりご支援、ご協力頂いております、組合員はもとより、役員、事務局の方々に心から感謝申し上げます。

あり、皆でおいしく頂くことができました。

昨年は一昨年とは違い、それほどの被害もなく、スムーズな農作業ができたものの、全国各地では地震や豪雨など災害の様子が伝えられ、胸の痛む思いを致しました。仕事の合間では、夏の研修でコスメの講師に普段忙しくてできない、肌のケアー等も教えて頂きました。食事会等も

また、食育事業では、青年部・女性部の皆さまやJA職員と一緒に、田植えや稲刈り、ピザやシチュー作りなどの体験を子どもたちに届けることができました。

います。
今後のフレッシュミセス会の活動につきましても、今までと変わらずご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。
終わりにりましたが、残された任期を役員一同、皆様のお力をお借りしつつ、努めさせていただきたいと思えます。
本年が皆さまにとっても輝かしい一年になりますように心よりご祈念申し上げます。

日頃、畑で農作業をしていますが、このような様々な行事があり、楽しく活動ができて良かったと思えます。他の方々との交流もあり、情報交換しあうことで、勉強になりました。年々会員の数が減っているフレッシュミセス会ではありますが、皆さまの協力で楽しくやっていけたらと思

フレッシュミセス会夏期研修にて

開催3年目となった青年部・フレッシュミセス会ふれあい交流会

外部講師を招いたメイクアップ教室

女性部夏期研修にてお菓子づくり

気象情報を 農業や暮らしに 生かそう

毎年のように異常気象が取りざたされるようになった今、
一人ひとりが気象情報を正確に知って行動することが大切です。
天気予報はどのように出され、またどう生かすのがいいのでしょうか。
テレビでもおなじみの気象予報士・森田正光さんに
伺いました。



日本は天気の 変動が大きい

日本人は国民性として、天候の話好きだといわれます。実際、ちよつとしたあいさつにも「今日はいいいお天気で」「よく降りますね」などと天候の話題から始めることがしばしばでしょう。

「これは古代から農耕を主として生活してきた中で、収穫が天候に左右されてきたためであるのと同時に、天候の変動が大きい国だということも影響しています」と森田さん。

日本海では湿った暖気が発生しやすいし、大陸からは冷たい大陸高気圧がやって来ます。南からは毎年、多数の台風も来ます。山の多い地形も天候を大きく左右します。

予報がなかった時代には、人々は「月にかさが懸かると雨」といった観天望氣(天候に関する言い伝え)をもとに、日々の行動を決めていたものです。

日本で天気予報がスタートしたのは1884(明治17)年。当時は、あまりに外れることから、「測候所」と3回唱えれば生水に当たらない、雷に当たらないなどといわれたほどでした。昭和になると測候所も増えて、やや的中するようになり、先の大戦ではこのおまじないは禁句に。「弾に当たる」からだそうです。

天気予報は 大きく進化している

「今では気象情報は素晴らしく進化しました。われわれは、全国20カ所の気象レーダー、約1300カ所の無人観測施設、メダスト、気象衛星ひまわりを三種の神器と呼んでいます。コンピューター解析の精度も上がり、もはや人間による予想は追いつかない次元に達しています」

天気予報は、気象予報士が天気図を見て予想すると思っています。人は多いはず。ところが今は違います。気象庁からは1日に2回、観測データや、スーパーコンピューターで計算した予報結果が発表されます。

コンピューターによる予報は、大きく外れることはありません。

「外れるのは誤差の範囲といっているでしょう。大きな現象としてはかなりの確度です。2016年秋の迷走台風も、常に3日ほど前からの予報円の範囲内に入っていました」

気象予報士は気象庁発表の結果をベースに、現在の風や雲の様子、観測データなどを見て、時間の経過によるズレを修正したり、細かなエリアごとの予報を出したりしています。

コンピューターの予報は気温12度でも、実際は10度なら、これから上がるのかそ

気象予報士・株式会社ウェザーマップ代表取締役

森田正光（もりたまさみつ）

1950年名古屋市生まれ。(財)日本気象協会を経て、1992年フリーのお天気キャスターとなる。同年、気象会社・株式会社ウェザーマップを設立。親しみやすいキャラクターと個性的な気象解説で人気を集め、テレビやラジオ出演の他、全国で講演活動も行っている。



観天望気のいろいろ

1 自然現象

- 夕焼けの翌日は晴れ ☐
- 山にかさ雲がかかると雨 ☐
- 夜中の雷は大雨 ☐



2 動物の行動

- 渡り鳥が早いと雪が多い ☐
- 猫が顔を洗うと雨 ☒
- ツバメが高く飛ぶと晴れ ☐



3 どちらでもないもの

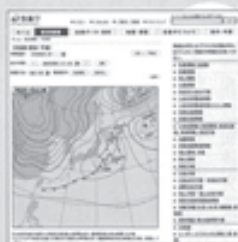
- 火事の後は雨 ☒
- 茶柱が立つと晴れ ☒
- 鍋底が赤くなると天気が変わる ☒



イラスト:MDRデザイン事務所

気象庁発表の気象情報

<http://www.jma.go.jp/jp/yoho/>



天気図、各地の天気予報、雲や雨の動きなど、さまざまなデータが見られます。今ではスマートフォンでもきめ細かい情報が入手できます。

（天気予報活用で）リスク回避を

「雨や台風を止めることはできませんが、予報を活用して行動を変えればリス

のまなのか。雨の予報なら、小雨か雷雨か、冷たい雨か暖かい雨か。テレビやラジオ、インターネットなどの天気予報では、そうした気象予報士による修正を加えた情報を出しているわけです。

「例えば雨雲が雨粒を作ってから地上に落ちるまで10〜15分ほどかかります。だから雨雲の位置を見れば10分後にどこで降るかわかります。気象状況は刻々と変化するので、常に最新のデータを見て切り替えていくわけです」

「1991年に青森を襲った台風ではリンゴ農家に甚大な被害が出ましたが、そのときに木に残った果実は「落ちないリンゴ」として受験生の人気を呼びました。今では各リンゴ農家は台風が近づくと早めに収穫しています」

「詳細な気象情報は、自分から知ろうとしなければ手に入りません。天気予報を小まめに確認するか、詳しい人に聞くのがいいでしょう。もちろん自分で気象庁

が発表している雲の動きや降水量、気温などのデータを見て、住んでいるエリアの天候を判断することもできます。広域の予報は曇りでも小さな雨雲が自宅付近に向かっていれば、局地的な雨が降ると分かります。

昔ながらの観天望気も役立つでしょうか。森田さんは「言い伝えは(1)自然現象、(2)動物の行動、(3)どちらでもないものに分かれます。経験則が生んだ(1)は比較的当たります。「月にかさ」は上空に薄い雲があるからです。(2)は当たるものもありますがはつきりと証明はできません。茶柱が立つと晴れといった(3)はほぼ迷信ですね」とのこと。やはり、確かな天気予報を基に行動を決めるのが良さそうです。

地域の 学校紹介

本校は、JRの北美瑛にある乗降所を通じて志比内へ抜ける途中(朗根内町内)に位置しています。そのため観光地ではありませんが、夏には観光バス等も多く通るところです。ただ地域は農業地帯であり、学校のすぐそばには水田が広がり緑豊かな自然環境に恵まれた場所にあります。

これまで小中併置校として歩みが続けてきましたが、昨年度中学校が閉校して子どもの数も教職員も少なくなりましたが、今日も小学生の笑顔や歓声が明るく



鯉のぼり揚げ

美瑛町立明德小学校

校長 井 上 泰 一



響く学校です。

明德の春は「鯉のぼり揚げ」から始まります。毎年、本校の子どもたちや教職員はもちろん卒業生や保護者・地域の方々が集まり残雪が残る中、全員で取り付け作業を行います。その様子は新聞やテレビでも取り上げられているので、時折明德の空を泳ぐ鯉のぼりを眺めていく人たちも見かけます。

近年、学校と地域の連携が求められ、「コミュニケーション」という言葉も聞かれるようになりました。美瑛町内においてもそれぞれの学校で取り組みが始まっています。しかし、本校では「コミュニケーション」という言葉が流行する以前から、地域全戸がPTA会員として学校を支え、様々な活動に子どもたちと一緒に取り組んできました。

朗根内保育所と合同で行う運動会は、地域の方々も加わって賑やかに実施されます。競技準備等はもちろん実況放送も小学生や教職員・地域の方が分担して笑い声のあふれる楽しいものとなっています。また、小規模多機能介護施設「七彩」との交流をはじめ、地域の老人会との交流も年間を通して計画されており地域の方と子どもたちの絆を深めることにつながっています。

夏休みには、今年も「子どもたちのために」を合い言葉に「明德夏祭り」が開催されました。「出店は減らしたくない」との思いから少年団育成会や青年団をはじめ多くの明德OBや地域の方々が(昨年以上に)集まり、盛大に行うことができました。

十二月に行ったPTA行事「もちつき大会」にも多くの方々が集まってくださ

もちつき大会

り、子どもたちも貴重な体験をすることができました。取材で見えられた方からは「温かい地域だね」といううれしい言葉をかけられました。

この地域にあるからこそその体験や楽しい思い出に残る活動を大切にするとともに、学習面では小規模校の利点(誰かの陰に隠れてサボることができない)を活かして、一人ひとりにきめ細やかに楽しい授業を厳しく追い求めたいと考え努めています。本校の教育目標は「生き生きとたくましく歩む子ども」ですが、地域の温かい応援を受け、子どもたちはのびのびと活動し成長しています。



学芸会



運動会

児童作品展



1年 伊藤祐太「プレゼント」



1年 猪俣望乃「ママと馬に乗った」



1年 小口緋七「虫の世界」



2年 伊藤由衣「友達の結婚式」



2年 福田りき「おだやかパンダ」



2年 舟木わこ「カレー皿」



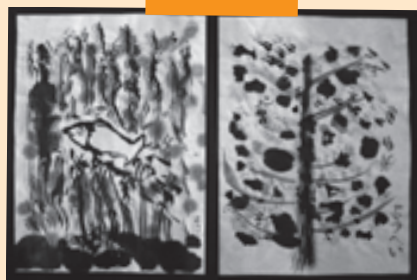
3年 東方颯良「真剣勝負」



4年 舟木崇大「ビリビリピカチュウ」



4年 小口晃祐「サンマ皿」



5年 東方耀平「たきのぼり」
「大～きな木」



6年 西條凜「キラッと輝く鯉のぼり」



明徳小学校の児童達

前面に販売戦略 JA 役員研修

組合員の皆さんの所得確保の前提に、農畜産物の付加価値アップがあります。農協改革での本命の一つに農業者の所得2割アップが挙げられています。地域経済力の向上と連動して特色ある協同活動が行われているところ。本組合でも販売戦略に関連し役員による先進地研修が行われましたので概要を報告いたします。

所得確保に向けて

組合でも販売戦略に関連し役員による先進地研修が行われましたので概要を報告いたします。

この役員研修は11月21日から4日間の日程で、役職員あわせて23名。販売事業と関連のある北陸方面です。JA金沢市直売所では、ほかから村と称する最大級の店舗として平成22年8月にオープン。食育活動、料理教室、家庭菜園の営農相談も実施され、地産地消の拡大と食の大切さ、農業への理解を深めてもらう活動に取組み、地域密着を基本に協同事業が進められていました。

石川県の取引先、ネオ食品株式会社では、美瑛産小豆とかぼちゃを100%使用した北海道美瑛小倉飴、北海道美瑛かぼちゃ飴が製造販売されており、仕入から加工、製造、販売、倉庫業、運送業等の物流までを一貫して行っており、安心、安全な食品販売を行い需要の変動に迅速に対応できる生産・供給システムを確立された会社であり、美瑛産農産物の製品適正について話を伺い今後の戦略の参考となるものでした。

丘のまち東京物産館(美瑛選果有楽町店)では、有楽町東京交通会館



役員道外視察研修

で行われた、第1回ご当地アイス対決で美瑛の「ハスカップソフトクリーム」が総合1位に輝き、好評を博しているとのこと。また、電子マネー決済を導入したことにより顧客の利便性が高まり、売上が顕著に向上したとし、今後の展開としては、イトインスペースが常に満席のため、カレーのテイクアウトを始めるなどの報告を受け大消費地「東京」での販売戦略のあり方を確認してきました。

ご苦労様、 集落代表者研修会

スマート農業の現状も

集落代表者の皆さんが一堂に介し今年度の農業、農協事業の経過などを報告する、数えて44回目の「集落代表者研修会」12月1日JA大ホールで行われました。開会挨拶で熊谷組合長は「本年度は品目で生産高にバラツキはあるものの農業総生産は交付金も含み155億円が見込める。災害を乗り越え3年連続の好結果となった。皆さんとともに喜びたい」と挨拶。研修会では今話題のスマート農業について取り上げられ、GP

Sやドローンについて専門家から活用の現状について説明がなされました。特に無人飛行機の飛行に当たっては「許可を必要」とする空域があり注意を呼びかけていました。



ドローンの活用などの説明を受ける代表者の皆さん

おめでとう 村上雅紀さん

道枝肉共励会、 優秀2席に輝く

ホクレンが行う第39回北海道枝肉共励会(黒毛和牛の部)が12月2日帯広市の道畜産公社道東事業所十勝工場で行われました。共励会には道内の49農協から101頭(すべて去勢)が出品され日頃の成果が競われました。美瑛からは村上雅紀さんが出品し、見事優秀2席(A5、507

*)に輝きました。飼養技術の結果です。おめでとうございます。



村上さんの出品枝肉

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会



【食と農のイベントを初開催】

「北海道アグリ・フードプロジェクト」が11月に札幌市で開催され、JAグループ北海道も企画主体となりブース出展やステージ企画を実施しました。

道内各地の農畜産物や加工品の試食・販売をはじめICT関連最新技術の紹介まで全道の出展者が集まり幅広いブースを展開。農業関係者や消費者の皆さん等、約8,000人も来場者が訪れ、農業の最先端技術に触れる場や、北海道農業の魅力発信の場としての大きな役割を果たすイベントとなりました。



JA北海道信連



11月に農業経営者支援の一環として、今年で7回目となる「農業経営フォーラム」を開催しました。

（株）もち米の里ふくれん特産館の堀江代表取締役が「創業からこれまでのあゆみ」を、NPO法人失敗学会の飯野副会長に失敗を成功のもととする『失敗学』をテーマに講演頂きました。

参加者からは「大変勉強になった」「失敗から学ぶことの大切さを教わった」など好評を頂きました。



ホクレン



↑登録はコチラから

LINE@等を活用した生産者向け情報発信サービス「ホクレンインフォメーション」では、生産者の皆様に向けたイベントや新商品の情報、生産資材（飼料や農薬など）価格、スマート農業情報などの営農情報をタイムリーに発信しております。

今後とも生産者の皆様に役立つ情報を発信して参りますので、ぜひ、お手持ちのスマートフォンやパソコン（<http://hokuren-news.jp/>）から登録ください。



JA共済連北海道



11月22日・23日に開催された「北海道アグリ・フードプロジェクト」で、オリジナルキャラクター『ひとのわぐま』のあてゲームを実施し、多くの方々に楽しんでいただきました。

地域貢献活動の紹介やキャンペーンチラシを景品と共に配布し、JA共済連北海道の活動を知っていただく機会となりました。今後このようなイベントを通し、JA共済の周知に取り組んでまいります。



JA北海道厚生連



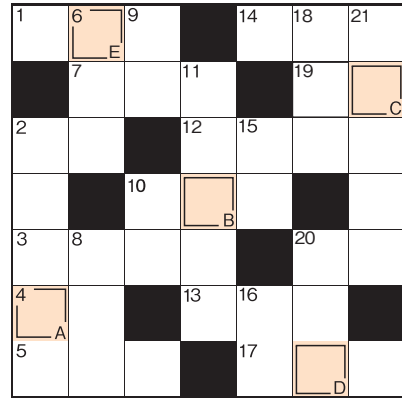
JA家庭介護教室では、高齢化の進展に伴いさらに増加することが見込まれている認知症高齢者への支援として「認知症サ

ポーター100万人キャラバン運動」を展開し、認知症を正しく理解し支援する「認知症サポーター」の養成や安心で安全な家庭介護実践のための正しい技術や知識が習得できる講義・実技演習を実施しました。安心して暮らせる地域社会の実現に向けた取り組みを継続して参ります。

頭の体操

クロスワードパズル

二重マスの文字をA→Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか?



ヨコのカギ

- ① 2018年の——五輪は平昌で行われます
- ② 力士が踏むものは平たい
- ③ ツルのものは長く、カモのものは平たい
- ④ 尺八やフルートはこの仲間
- ⑤ 医師に処方してもらうものの一つ
- ⑦ ずいぶんと——が飛躍しているなあ
- ⑩ 銀世界を眺めて楽しむこと
- ⑫ 日本——が寒波に覆われた
- ⑬ スマホで明日の天気——を調べた
- ⑭ 漢字で書くと最中。あんの入った和菓子です
- ⑰ 桃太郎の場合は犬・猿・キジ
- ⑲ 鬼の頭に生えています
- ⑳ バレンタインの本命チョコに込めます

タテのカギ

- ② 友人の結婚をみんなで——した
- ⑥ 魚の下ごしらえの際に取ることも
- ⑧ 将棋に似た西洋のゲーム
- ⑨ 五輪で1位の選手がもらうメダルの色
- ⑩ 温めた豆乳から引き上げます
- ⑪ アルバイトの面接を受ける際、書いて持つていくことも
- ⑮ ドフトエフスキーの著書『——と罰』
- ⑯ 寒い日にはポツと赤くなる人も
- ⑰ ボルトと組み合わせ使います
- ⑳ セーフの対義語
- ㉑ 模試では合格の——が80%だった

正解者の中から抽選で5名の方に農協全国商品券1,000円分(全農)をプレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしております!!

【応募方法】

● ハガキ

注! ハガキは62円です

うら

- ① クイズの答え
- ② 今月号の良かった内容
- ③ 取り上げて欲しい内容
- ④ その他ご意見・感想など
- ⑤ 住所氏名・年齢・電話番号

おもて

〒071-0298
美瑛町
中町2丁目6-32
J A びえい「丘の大地」
クイズ係

● F A X 0166-92-2977

● Eメール kouhoushi@biei.ja-hokkaido.gr.jp

【締め切り・発表】

毎月20日(当日消印有効)、当選者は次号でお知らせします。

こたえ・当選者

☆ 先月号のこたえは『フクブクロ』でした

☆ 当選者は

ナ	ナ	ク	サ	フ	シ
マ	ス	イ	ハ	ン	キン
エ	ト	ド	ン	ウ	ミ
マ	オ	レ	エ	ミ	ゾ
ス	ト	リ	キ	ズ	レ
イ	ク	ズ	レ	ミ	ゾ

鎌田 順子さん
佐藤 寿志さん
野村 映利佳さん
寺島 明さん
高島 松枝さん

以上の5名です。
おめでとーございます。

※応募の際にご記入いただいた個人情報の、賞品の抽選・発送に利用させていただきます。また、ご意見・感想については、本誌編集の参考にさせていただきます。

1月のあなたの運勢

監修/モナ・カサンドラ

おひつじ座 (3/21~4/19)

【全体運】プレッシャーを感じやすいよう。肩肘を張らず、周囲の言葉に耳を傾けてみると◎。気晴らしには運動がベスト
【健康運】寒さ対策が重要。小まめに動くのも有効
【幸運を呼ぶ食べ物】 キャベツ

おうし座 (4/20~5/20)

【全体運】フットワークの軽さが好運の呼び水に。保留されていたことが動き始める予感。少し遠出の旅行も吉
【健康運】規則正しい生活が運氣アップのポイント
【幸運を呼ぶ食べ物】 シュンギク

ふたご座 (5/21~6/21)

【全体運】氣力が長続きしにくい月。あれもこれもと手を広げると、全てが中途半端になりがち。開運には神社参拝へ
【健康運】ゆったり過ごして。適度な休息を大切に
【幸運を呼ぶ食べ物】 シジミ

かに座 (6/22~7/22)

【全体運】気まぐれになり、人を振り回してしまいそう。言動をコロコロ変えないこと。好きな曲でテンションを上げて
【健康運】おおむね良好。ダンスやスポーツを楽しんで
【幸運を呼ぶ食べ物】 ユリ根

しし座 (7/23~8/22)

【全体運】物事をネガティブに考えやすい時期。持ち前の明るさを忘れずに。また、うわさ話に興味を持つのも運氣低下のもと
【健康運】疲れたら、ゆっくり休んで。自愛が必須
【幸運を呼ぶ食べ物】 プリ

おとめ座 (8/23~9/22)

【全体運】にぎやかで華やかなことに縁があります。新年会やパーティーといった席には積極的に顔を出して。観劇も刺激大
【健康運】体操など、軽い運動が元氣キープの秘訣(ひけつ)
【幸運を呼ぶ食べ物】 レモン

てんびん座 (9/23~10/23)

【全体運】珍しく感情的になりやすいかも。深呼吸で心を静めて。趣味や好きなことを満喫する時間を持つとラッキー
【健康運】運動不足めなる暗示。体重増を招きがち
【幸運を呼ぶ食べ物】 のり

さそり座 (10/24~11/22)

【全体運】視野を広げるチャンス。いろいろな分野に興味を持ってみて。新しい趣味や習い事をスタートすると好結果に
【健康運】心に余裕を持つことで、運氣回復の兆し
【幸運を呼ぶ食べ物】 伊勢エビ

いて座 (11/23~12/21)

【全体運】物事を強気で進めるのには不向き。しっかり足元を見詰め、着実な歩みを目指して。精神的な部分の強化に最適
【健康運】食生活が乱れやすい月。節制を心掛けて
【幸運を呼ぶ食べ物】 キウイフルーツ

やぎ座 (12/22~1/19)

【全体運】やる気が高まる活動期。自然と長所が表に出そう。アクティブに動くことで、さらなる発展や成長が期待できます
【健康運】ストレッチやヨガは、体調に好影響あり
【幸運を呼ぶ食べ物】 ナガイモ

みずがめ座 (1/20~2/18)

【全体運】サービス精神旺盛に行動すれば、徐々にスムーズな流れを引き寄せられる期間。思いやりや周囲との協調が大事
【健康運】うっかりしやすい。小さなけがに注意を
【幸運を呼ぶ食べ物】 こんにゃく

うお座 (2/19~3/20)

【全体運】対人運が活性化します。初対面の相手ともすんなり打ち解け合えるはず。グループレジャーにもつきがけありそう
【健康運】体力増強に良い時期。スポーツに励んで
【幸運を呼ぶ食べ物】 甘エビ

今日のレシピ

●ホウレンソウとジャガイモのチーズ焼き●

作り方

- (1)フライパンにバターを入れ、ゆでて半分に切ったジャガイモ、ホウレンソウを入れ、塩・こしょうをして炒める。
- (2)グラタン皿にバターを塗り、(1)とカットしたトマトを並べ、生クリームとマヨネーズを合わせてソースを作り回し掛ける。
- (3)パルメザンチーズを振り、200度のオーブンで8分焼き、お好みでパセリ（材料外）を散らす。



ジャガイモはしっかり炒める。ホウレンソウは炒めた後、1束にまとめて載せる。マヨネーズの量はお好みでどうぞ。



材 料 (2人分)

ジャガイモ……………2個	生クリーム……………3/4カップ
ホウレンソウ……………1/2束	マヨネーズ……………大さじ2
トマト……………1/2個	塩・こしょう……………適宜
バター……………適宜	パルメザンチーズ……………適宜



お申し込み
お問い合わせは
JA/営農部まで

有元葉子

のり、わかめ、ひじき、昆布、もずく

有元葉子 著

■ 1,620 円（税込）

栄養豊富で低カロリー、日本の食卓を支える名脇役“海藻”。人気料理家の有元葉子が定番和食から洋風、作りおきまで毎日使える海藻レシピを紹介。だしのとり方や下ごしらえなど基本の扱い方も丁寧に開設。



切り口ひとつで美しく見せる

驚きの魅せレシピ

市瀬悦子 著

■ 1,512 円（税込）

料理のおいしさはもちろん、美しさにもこだわった驚きの「断面」魅せレシピ。切った瞬間にテンションが上がるカラフルで美しい切り口は、インスタ映えもバッチリ。器選びや盛り付けのテクニックも満載。



ひとり暮らしからシニアまで

小さな鍋で絶品おかず

石澤清美 著

■ 1,188 円（税込）

ひとり暮らしやシニアのふたり世帯にぴったりの、小鍋ひとつでささっと作れるバリエーション豊かな絶品レシピ。汁物はもちろん、蒸し料理や焼き料理、サラダまで、毎日使える70レシピ。洗い物もラクラク！



農業者の皆さまへ 農業者年金のご案内

老後生活の備えは十分ですか？農業者年金は、国民年金の第1号被保険者（保険料納付免税者を除く）で、年間60日以上農業に従事する60歳未満の方であれば、どなたでも加入できます。

※加入される方は、国民年金の付加年金（付加保険料月額400円）への加入も必要となります。

農業者年金のメリット

少子高齢化時代に強い積立方式の年金

公的年金ならではの税制上の優遇措置

終身年金で80歳までの保証付き

農業の担い手には手厚い政策支援

詳しくは窓口までお問い合わせください。

窓口

営農部 ☎ 68-7014

JA Biei Information



営農研修会は 1月30日（火）

今年度の営農研修会は、水稻・畑作生産者の方を対象に1月30日（火）に開催します。詳細は後日、FAXおよび農協無線でご案内致します。多数のご出席をお願い致します。

◆開催日 平成30年1月30日（火）

◆場 所 JAびえい3階大ホール

窓口

営農部 ☎ 68-7014

1月のパソコン講習会について

◆日 程◆

種 類	月 日	時 間	内 容	講 師	場 所
ソリマチ簿記 （パソコン）	1月15日（月）	① 9:00～11:00 ② 13:00～15:00	・ソリマチ簿記の使い方や勘定科目の 設定など ・次年度更新の行い方 ・クミカンデータの転送の仕方	青申会	JAびえい 2階 PC研修室
	22日（月）				
	25日（木）				
	30日（火）				

◆持参するもの◆

自分のパソコンで講習を受けたい方⇒本体を持参してください

ソリマチ簿記を受講希望の方⇒

伝票入力の練習も行いたい場合は、今年のクミカン報告書と減価償却資産台帳を持参して下さい。

窓口

営農部 営農支援課 ☎ 68-7014

年始のJA業務時間のご案内

		1月1日(月) ～2日(火)	3日(水)	4日(木)	5日(金)	6日(土)	7日(日)	8日(月)	9日(火)
金融店舗窓口		休 業		9:00～16:00		休 業		9:00～16:00	
ATM	金融店舗	休 業		8:45～17:00		休 業		8:45～17:00	
	ホクレン ショップ玄関	休 業	9:00～17:00	9:00～18:00		休 業		9:00～18:00	
給油所	北町	休 業	8:00～17:00						
	大町セルフ	6:00～21:00							
上記以外の部門		休 業		営業日 8:30～17:00		休 業		営業日 8:30～16:00	

※ JAバンクの全国統一電算システムの更改にともない、1月6・7・8日はJAバンクATM、JAネットバンクサービス、コンビニ等のATMについて、一時休止とさせていただきます。

年始休業中の緊急対応

JA業務につきまして、緊急な業務対応は次の通り実施いたしますのでお知らせします。

項 目	連絡先
JA共済事故受付センター	0120-258-931
灯油・プロパン	92-2157

窓口

総務部 ☎ 92-2111

新生活応援キャンペーン

平成30年1月1日(月)～3月20日(火)までのご契約を対象に新生活応援キャンペーンを開催中です。

キャンペーン内容

●平成30年3月卒業予定の学生の方の新車・中古車ご購入で「日清・ヘルシー調味料バラエティセット」や「ホームスワンプレンダー」など、素敵なプレゼントを進呈。



詳しくは、農業機械課までお問い合わせください。

窓口

購買部農業機械課 ☎ 92-2157

JAバンクをご利用のお客さまへ ATMなどのサービスを 一時休止させていただきます。

いつもJAバンクをご利用いただきありがとうございます。
このたびJAバンクの全国統一電算システムの更改にともない、誠に勝手ながらATM・JAネットバンク等のサービスを一時休止させていただきます。
ご不便をおかけしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年 1月 6日(土)・7日(日)・8日(月)

休止させていただくサービス

JAバンクのATM JAバンクのATMを利用した、入金や出金、残高照会、振込・振替など、すべてのサービス	JAネットバンクサービス パソコン・スマートフォン・携帯電話を利用した、振込・振替など、すべてのサービス
コンビニ等のATM JAバンクのATMと提携しているコンビニ・ドラッグストア・その他店舗、全国展開のコンビニ等のATMを利用したすべてのサービス	

下記日程にてホクレンショップATMを臨時営業いたします。

平成30年 1月 3日(水)



現金のお引き出しはお早めに

※お引き出しは現金のお引き出しが可能な限り、あらかじめ現金をお引き出しいただく等のご準備をお願い申し上げます。

JAバンク北海道 支店・出張所 一覧表

JAバンク

ホームページ | <http://www.jabank.org/>

JAバンク北海道

女性部サークル活動のお知らせ

女性部では、冬の時間の取れるうちに行える趣味の活動を取り入れたいと考え、書道サークルと手芸サークル・料理サークルを立ち上げることにいたしました。各サークルの開催日時は以下の通りとなっております。申し込みなどは不要です。当日、直接会場にお越しください。たくさんの部員の皆さまのご参加をお待ちしております。

書道サークル：1月9日、16日、30日

手芸サークル：1月10日、24日

料理サークル：1月17日、31日

開催場所：各サークルとも青年・女性部の部屋
開催時間：13:30～16:00

※書道サークル・手芸サークルは時間内であれば何時にいらしていただいても構いません。

料理サークルは開催時間までにお集まりください。

営農部

☎ 68-7014 FAX92-2644

窓口

新年特集号 表紙の写真

ご協力
ありがとう
ございます



本誌2018年新年号の表紙に登場していただいたのは、「ルベシベヘキ地保育所」の園児の皆さん7名です。当日は風邪でお休みの子もいて残念でしたが、元気いっぴいな姿を見せてくれました。新年の干支である戌（いぬ）の絵が個性豊かで素晴らしいですね！ご協力ありがとうございました！

平成30年度

免税軽油・農業労災保険の 受付が始まります

農業機械課では、平成30年度免税軽油申請と、農業労災加入手続きを行いますので、お早めの手続きをお願い致します。

■申請手続き

免軽必要事項

印鑑、標識交付証明書（トラクター等入替増車の方）

労災必要事項

平成29年度分使用労働者数及び支払賃金、
平成30年度支払予定賃金

受付期間

1月15日(月)～1月24日(水)

受付時間 午前9時から午後4時まで

受付場所 研修センター会議室

※近年、免税軽油の不正利用防止のため、使用者への調査が強化されております。

免税軽油使用者証に未記載の機械への使用等、不正使用が発覚した場合は、
罰則(免税証の不交付や過去三年に遡り返納等)が生じますのでご注意ください。

※毎年、多くの農作業事故が発生しております。未加入の方はこの機会にぜひ農業労災に加入しましょう。



窓口

研修センター ☎ 92-0588

職員の動き※【 】内は移動前の部署

■人事異動 12月6日付

総務部管理課課長 兼務

JAびえい販売(株)経理部長

【総務部管理課課長】

植田 隆 彰

販売部生産振興課課長 兼務

JAびえい販売(株)営業課長

【販売部生産振興課課長】

平 間 尚 貴

販売部付 課長

JAびえい販売(株) (出向) パッケージセンター長

【販売部販売促進課課長 (パッケージセンター長)】

栢 木 貴 志

販売部付係長

JAびえい販売(株) (出向) 経理係長

【販売部経理課係長】

浦 島 明 美

畜産部畜産課係長 兼務

JAびえい販売(株)営業係長

【畜産部畜産課係長】

佐 原 健 一 郎

販売部付 JAびえい販売(株) (出向)

【購買部農業機械課主任】

山 田 健 太 郎

購買部農業機械課主任

【販売部販売促進課主任】

中 村 英 司

販売部付 JAびえい販売(株) (出向)

【販売部販売促進課】

西 舘 優 菜

販売部付 JAびえい販売(株) (出向)

【販売部販売促進課】

青 田 麻 衣

春の新車フェア

平成30年1月1日～3月31日までのご契約を対象に「4メーカー全車種対象特別企画新車フェア」を開催中です。

キャンペーン内容

●乗用車新車で購入で「空気清浄器」や「農協観光旅行券3万円分」など、豪華景品をプレゼント！

●軽トラック新車で購入で「スタッドレスタイヤ4本 (ホイール付)」プレゼント！

●ホクレン エンジンオイルプレゼント など

詳しくは、農業機械課までお問い合わせください。



窓口

購買部農業機械課 ☎ 92-2157

JA北海道厚生連

元気生活応援キャンペーン

対象商品ご購入で道産品グルメをプレゼント！

対象商品
1個ご購入ごとに
抽選はがきを連星

毎月30名に
賞品をお届けします

対象商品のご案内

“塗るタイプのグルコサミン”
グルコサミンダイレクト

こんな方にお勧めします
●スムーズに(着席に)動きたい方
●ふしふしの動きが気になる方
●運動で筋肉を使う方
●アスリートの方が多い方

知になるところに1日に2～3度、5～10分程度マッサージしながら塗りこむだけ。

＜1瓶85g/約1ヶ月分＞
3,800円(税別)

1日のおつかれさまに

草香酒

心休まる梅(ひのき)の香り

2種類の温泉成分に各種類の保湿成分で、温まっしてつとわお。

＜1瓶420ml＞
2,381円(税別)

おいしく毎日!

ラブレゼリー

こんな方にお勧めします
●腸内環境を整えたい方
●肌荒れでお悩みの方
●ストレスが多い方

＜10g×30包＞
3,000円(税別)

おいしい抹茶風味

野菜酵素青汁

こんな方にお勧めします
●食生活が偏りがち
●生活習慣が不規則
●便秘気味・毎朝スッキリしない

＜3g×31包＞
2,200円(税別)

商品1個購入ごとに専用はがきを連星、抽選で毎月30名に賞品をお届けします。
お求め・お問い合わせは、あなたの街のJA配置業推進員にお気軽にご連絡ください。

■対象期間 2017年10月1日～2018年3月31日 ■応募方法 対象商品をお渡しの際に、専用抽選はがきをお渡します。

道産品グルメプレゼント

① びらとり和牛
焼上バラすき焼き
700g

② 上干ししゃも
メス

③ 厚井の具・
タレ付2食
栗込みハンバーグ
2食

④ 多良の子
虎杖浜のまこころ
500g

JA配置業

